

日本共産党

あきば繁の市政報告

2013年10月9日発行
あきば繁
茶屋新田7-1-4
TEL (48) 2139

古河市議会第三回定例会 9/4～20日迄

古河市議会第3回定例会が9月4日～20日までの17日間で開催されました。今議会は、閉会中審査の常任委員長報告に始まり、市長報告、諮問2件、認定1件、報告9件、議案24件、認定14件と議員提出議案などが審議されました。

特別会計の決算を審査する「決算特別委員会」が、11日～13日まで開催されました。一般会計(2日間)は、市民の目線で様々な角度から質問・意見が出されました。

しかし、特別会計は「質疑なし、意見なし」。議案名を読む委員長の声だけが残る一時間足らずの特別委員会でした。

執行責任者(市長・教育長)不在の「特別委員会」でいいのか

「市議会活性化」と称し、議員の直接審査権を奪い、さらに市長の出席しない特別委員会が続けられています。ところが、

「決算特別委員会」審査方式の見直しを!

「質疑なし、意見なし? 特別委の行方が問われる」

今議会は、平成24年度的一般会計及び

委員からは「施策の考え方」など、施策の判断を求める質問が出されるなど、担当者が説明に戸惑う事態です。

※特別会計には、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス、福祉の森、公共下水道、農業集落排水、ゴルフ場、土地区画整理事業、水道事業などがあります。

高すぎる国保料、改定のため値上の後期医療、介護保険(要支援を適用から外す動き)。消費税のかかる上・下水道料金やくさい、まづい水の問題。

ゴルフ場は、年々利用者が減少。それでも、年間9千万円の利益を保证する「協定納付金」制度や河川使用料の値上げなど抱える問題はたくさんあります。

ラムサール条約指定の渡良瀬遊水地は、自然観察公園に戻すことも考えられます。

都議選、参院選に続く茨城の勝利で、県議会で見解書や決議案も出せ、一般質問も2回以上でき発言力が大きくなります。

争点の「新中核病院建設」は、「命の問題」が遅々と進まないことへの住民のいらだち等が党派を超えた信頼になり、要求での共同が勝利に結びつきました。

「採択」ではなく「採択」すべき!

「年金2・5%削減の中止を求める」と「TPPへの参加反対」の請願 年齢者医療費の値上げ等、大変な年金生活者の現状を見ず首を絞めるもの。

閉会中審査となつていた「年金2・5%削減」と「TPP参加反対」の請願を「趣旨採択」の委員長報告。アベノミクスで物価高、介護保険や後期高

「契約問題」訴訟、前市長を含む関係者に「損害賠償を求め」手続きを速やかに



【一般質問は、福祉・防災・契約問題訴訟について行いました。】

質問Ⅱ「恣意的行為があった」として、前白戸市長を含む関係者の関与を指摘、東京高裁判決が確定した。

「適切な求償とは何か」、調査内容等について伺う。

質問Ⅲ「無料にします」と「質問への約束は、いつ守る」

質問Ⅱ 前市長を含む関係者に「損害賠償を求め」手続きを速やかに

質問Ⅱ お年寄りの楽しみは、年金。またお茶を飲んで、お風呂に入るのも一つの楽しみです。市内にある「福祉センター」の無料化はいつ実現するのか。

市長Ⅱ お風呂の問題は、確かに質問を受け、65歳以上は無料にといいました。まだ進んでいないのは私の責任です。早くやります。

※他に、第七小学校の避難所の見直し、水害対策について。

参議院選挙に続き、知事選挙で善戦健闘 筑西市の県議補選、県西で初の議席確保

9月8日投票の知事選挙で、日本共産党推薦の田中しげひろ候補は25万7千票を超え、得票率34・47%を獲得、当選には至りませんでした。橋本候補を追い詰め善戦健闘しました。

これは、「明るい会」の候補者として史上最高の得票を獲得し、今後、県民本位の県政に変えることへ大きな前進を勝ち取りました。

また、同時に行われた筑西市の県議補選で、日本共産党の鈴木さとし候補が自民党の保坂氏を破り、県西で初の議席を確保